



隊員からのメッセージ

未来のうみを守るために、私たちにできること



ニュースサイト&SNSで、びわ湖や海をもっと大切にしたい話題を発信中!

海と日本 滋賀県  
<https://shiga.uminohi.jp/>



@umipro\_shiga  
 @umipro.shiga  
 umipro\_shiga

海と日本プロジェクトin 滋賀県(びわ湖放送)  
 海と日本プロジェクトは、日本財団の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。



今年の夏、滋賀県の小学5年生20名を「食卓から未来のうみを守り隊」に任命! 森やうみ(びわ湖・大阪湾)での3日間の体験を通して、豊かな海を未来に残すために自分たちができることを考える環境学習を行いました。

「将来、食卓から魚が消えてしまうかも!?!」

美味しい魚をずっと食べ続けるために、身近な食卓から「海を守る大切さ」を考えました!

1日目  
7月25日



奥びわ湖・山門水源の森(長浜市)で自然観察!

貴重な生き物や植物を発見! 森からの水が、びわ湖や海の生き物を育むことや、海を守るためには、森を守り育てていくことが大切だということを学びました。

2日目  
7月31日



午前 伝統漁法「エリ漁」の仕掛けを見学して、びわ湖の漁業を学ぼう!

びわ湖には、たくさんの固有種がいることや、漁師さん達がびわ湖を守るために、稚魚の放流や外来魚駆除、湖岸の清掃活動などもされていることを学びました。

3日目  
8月11日



午後 リモートで大阪湾の漁業を学ぼう!

びわ湖の水は、川を通じて大阪湾へ流れ出します。大阪湾の漁師さんから、資源管理を徹底した「持続可能な漁業」について学びました。守り隊のお家には大阪湾の美味しいシラスが届きました!

3日目  
8月11日



「生活協同組合コープしが」からエシカルなお買い物について学ぼう!

「エシカル」とは「倫理的な」という意味。守り隊は「誰かの笑顔につながるお買い物」=「エシカルなお買い物」について学びました。最後に3日間の活動を振り返り、自分たちにできることを考えました。

このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とながつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環で実施しました。

協力団体: 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 / 三和漁業協同組合 / 滋賀県漁業協同組合連合青年会 / 滋賀県 農政水産部 水産課 大阪府漁業協同組合連合会 / 大阪府資源管理船びき委員会 / 生活協同組合コープしが